医療最前線

せん妄について①

作業療法士　小泉 友見

■せん妄とは

みなさんは「せん妄」という言葉を聞いたことがありますか？

あまり聞きなじみのない言葉かもしれませんが、実は意外と身近に起こりうることなのです。一例として、入院患者さんのうち、一般病棟の方では10～30％程度、集中治療室（ＩＣＵ）の方では70～80％程度の方に発症するといわれています。

いったい、せん妄とはどういうものなのでしょうか？アメリカ精神医学会によるせん妄の診断基準を要約すると、「何らかの身体疾患によって惹起される、急性で変動する意識障害・認知機能障害」とされています。

時間の経過とともに重症度が変動する注意障害や睡眠覚醒リズムの障害（いわゆる昼夜逆転）を特徴とします。記憶障害や言語機能障害、視空間認知障害、知覚障害など複数の領域の障害のほか、不安や焦燥感、興奮などの、さまざまな情動変化（怒り、多幸感、無欲、無関心）を伴います。

せん妄という用語は病名ではなく、このようなさまざまな精神状態を指します。医学用語としての定義はあるものの、あらゆる種類の錯乱状態を総称する言葉として使用されることもしばしばあります。

ちょっと分かりにくいかもしれないので、実際に病院で起こりやすいケースで言い換えると次のようになります。「何らかの病気で入院したり手術を受けた後に急におかしなことを言い始めたり、幻覚が見えたり、興奮したり、安静にできなくなってしまいます。適切に診断や治療がされないと点滴やおしっこの管などを抜いてしまいます。さらにベッドから転落、転倒して治療の大きな妨げとなることもあり、重症患者さんでは生命に関わる危険な事態になることがあります」。

■せん妄の原因

それではどのようにしてせん妄は引き起こされるのでしょうか？

せん妄の原因は多くあり、それらが複数関係している場合があります。よく見られる原因について説明していきます。

・入院や手術

入院・手術によるストレスや環境の変化、手術の麻酔薬や術後に使用される鎮痛薬によって引き起こされることがあります。

特に集中治療室（ＩＣＵ）に入院されている方は、隔離された部屋で感覚からの刺激が少なくなり、見当識（自分がいる場所や日時などの基本的状況を把握する能力）が失われる可能性があります。また、昼夜問わずアラームやモニターの音が聞こえてくるため、睡眠不足になってせん妄を起こしやすくなります。

・脱水

脱水によって電解質のバランスが崩れることも、せん妄を引き起こす原因です。体液に含まれる水分や電解質は、体内で栄養素や老廃物を運搬する働きを持っていることから、脱水によって水分や電解質が奪われていくと、脳の機能に影響を及ぼして神経伝達がうまく働かなくなり、意識障害を起こしやすくなります。

・感染症

尿路感染症や肺炎、インフルエンザなどの感染症も、せん妄を引き起こすことがあります。炎症が強く起きたり、高熱や下痢・嘔吐による脱水を起こしたりすることが原因です。

・薬剤性

せん妄の原因で、可逆的なもののうち最も多くを占めるのは薬剤です。若い人では、違法薬物の使用と急性アルコール中毒が一般的な原因です。高齢者では処方薬が原因となります。

せん妄を起こす可能性がある薬剤として、がんの痛み止めとして処方されるオピオイド系鎮痛剤、睡眠薬、抗不安薬が知られています。薬剤を服用している時だけではなく中止した時にも起こる可能性があるため、注意しておくことが必要です。特に高齢者では腎機能や肝機能が低下していることで薬の影響が出やすいため、せん妄のリスクは高くなります。

・その他

また、高齢者、脳卒中の既往がある方、認知症患者などは、比較的軽い病態でもせん妄をきたす可能性があります。

他にも、重症度は低いけれども、せん妄をもたらしうる病態には次のものがあります。

「重度の便秘」、「痛み」、「膀胱カテーテル（膀胱から尿を排出するための細いチューブ）の使用」、「長期的な睡眠不足」、「感覚遮断（社会的に隔離された状態、眼鏡または補聴器を使用できない状態）」など。

〈梶川病院（広島市西区天満町）作業療法士　小泉友見〉